

みずほCustomer Desk Report 2017/09/04 号(As of 2017/09/01)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	110.17 AUD/USD
TKY 9:00AM	110.13	1.1910	131.13	0.9596	1.2940	0.7941
SYD-NY High	110.50	1.1980	131.33	0.9653	1.2995	0.7997
SYD-NY Low	109.56	1.1850	130.68	0.9547	1.2906	0.7922
NY 5:00 PM	110.24	1.1860	130.84	0.9648	1.2941	0.7972
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	8.015/8.465		△25RR	0.923	Yen Call Over	

NY DOW	21,987.56	39.46	債券市場	日本2年債	-0.1670	▲0.6bp
NASDAQ	6,435.33	6.67		日本10年債	-0.0010	▲1.0bp
S&P	2,476.55	4.90		米国2年債	1.3420	1.7bp
日経平均	19,691.47	45.23		米国5年債	1.7383	3.6bp
TOPIX	1,619.59	2.18		米国10年債	2.1657	4.9bp
シカゴ日経先物	19,695.00	20.00		独10年債	0.3790	1.8bp
ロンドンFT	7,438.50	7.88		英10年債	1.0570	2.3bp
DAX	12,142.64	86.80		豪10年債	2.6600	▲5.4bp
ハンセン指数	27,953.16	▲17.14		USD/CNH	6.5612	▲0.0354
上海総合	3,367.12	6.31		ドルインデックス	92.81	0.15
USDJPY 3M Vol	8.75	▲0.19%	商品市況	CRB指数	180.946	0.09
USDJPY 6M Vol	9.08	▲0.13%		NY金	1,330.40	8.20
EURJPY 3M Vol	8.84	▲0.05%		WTI	47.29	0.06
EURJPY 6M Vol	9.35	▲0.04%		Dubai Spot	50.86	1.19

東京	東京時間のドル円は110.13レベルでオープン。10月に開催予定の第2回日米経済対話に向けて、麻生副総理兼財務相とベンス米副大統領が非公式に会談する予定であったが、北朝鮮情勢を踏まえて中止になったと報じられたものの、マーケットの反応は限定的。その後、中国8月Caixin製造業10月PMIが発表されるも、ほぼ市場予想通りの結果にこちらも相場への影響は限られたものとなった。午後に入ってから海外時間に米8月雇用統計の発表を控えて、110円台前半でのレンジ推移が継続。東京時間引けにかけて、約9ヵ月半ぶりに本邦10年債利回りがマイナス圏(▲0.005%)に低下するも、ドル円相場を動意づける程の材料とはならず、110.14レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は110.14レベルでオープン。米8月雇用統計を控えて110.04-110.22の小幅推移となり、米指標を待ちながら110.17レベルにてニューヨークへ渡った。ポンドドルは強含む展開。1.2920レベルでオープン後、英8月製造業PMI(改定値)が56.9(予想:55.0)と市場予想を上回ると、ポンドドルは1.2953まで上昇。1.2950レベルでニューヨークへ渡った。ユーロドルは1.1900レベルでオープン。ノットニー・オーストリア中銀総裁が「資産買入縮小策を議論、ユーロ高過剰解釈せず」と発言したことを受け、1.1929まで上昇した後、1.1917レベルにてニューヨークへ渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	NY時間のドル円は110.17レベルでオープン。朝方発表された米8月非農業部門雇用者数変化、失業率、平均時給伸び率のいずれも市場予想比悪化したことから米金利低下と共にドル売りが強まり、ドル円は安値109.56まで急落。しかしECB関係者より「QEについての計画は12月まで準備できない可能性がある」とのヘッドラインを受けて、対ユーロドル買いが強まったことからドル円は110円台を回復。その後、発表された米8月ISM製造業景況指数が予想を上回ったこともサポート材料となりドル円は高値110.50まで上昇した。しかし、米連3連休を目前に積極的な上値を追う展開とはならず、110.03まで値を戻した。午後は堅調な米株にサポートされ110.25付近での推移が続き、110.24レベルでクロスした。一方、ユーロドルは1.1917レベルでNYオープン。朝方の弱い米8月雇用統計を受けたドル売りからユーロドルは1.1980まで急伸。しかし、上記ヘッドラインを受けてECBのタイトニング観測が後退し、1.1850まで急落。その後、ノットニー・オーストリア中銀総裁の「ユーロの上昇は歴史的にみても許容範囲内」との発言が伝わるも市場の反応は限定的となり、ユーロドルは1.18台後半での上値の重い推移が続き、1.1860レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 高野・西谷

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月1日	10:45	中 Caixin 製造業PMI	8月 51.6	51.0
	17:00	欧 マークイット 製造業PMI・確報	8月 57.4	57.4
	21:30	米 非農業部門雇用者数変化/失業率	8月 156K/4.4%	180K/4.3%
	21:30	米 平均時給(前月比/前年比)	8月 0.1%/2.5%	0.2%/2.6%
	22:45	米 マークイット 製造業PMI・確報	8月 52.8	52.5
	23:00	米 ISM製造業景況指数	8月 58.8	56.5
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	8月 96.8	97.5

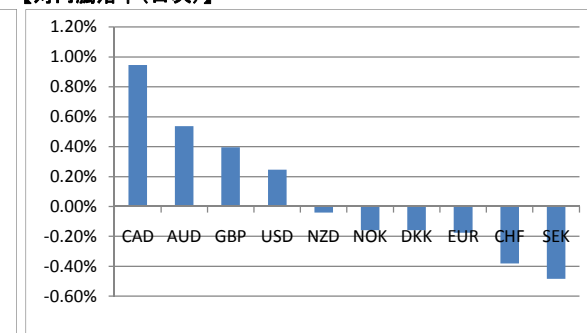
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月4日	18:00	欧 PPI(前月比/前年比)	7月 0.1%/2.1%	-0.1%/2.5%
	-	米 米国休日(レーバーデー)	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.20—110.20	1.1830—1.1930	129.60—131.00

【マーケット・インプレッション】

金曜日の海外市場でのドル円相場は下に行き来となった。アジア時間に110円台前半で推移していたドル円は、米国時間に発表された米雇用統計の内容が総じて弱い結果となったことで一時109.56まで急落。しかし直後、ECB関係者の話として「QEについての計画は12月まで準備できない可能性がある」との報道を受けて、対ユーロドル買いが強まったことや、その後発表された米ISM製造業景況指数が市場予想を上回ったことでドル円は110.50まで上昇し、結局110.24レベルでクロスした。本日のドル円は上値の重い展開を予想する。週末の北朝鮮による核実験を受け、ドル円は本日アジア時間早朝に109.22まで急落している。9月9日の北朝鮮建国記念日まで地政学リスクへの警戒感はあると考えられ、ドル円は上値の重さが意識されよう。